



静脈注射看護部委員長 新任石田師長インタビュー

今年度から静脈注射看護部委員会の委員長として活動しております。平成14年「静脈注射は診療補助業務行為の範疇」と厚生労働省から行政解釈変更の通知を受け、全国に先駆けて平成19年「静脈注射エキスパートナース認定制度」が整備されました(現在175名)。高度先進医療を担う北大病院では新採用の薬剤も多く、認定後も継続的な自己学習が求められます。また「安全な静脈注射の実践」を目標に、部署における役割モデルとなり、施設基準遵守に向けたリーダーシップを発揮することを期待されております。今後も役割を発揮し主体的な活動ができるエキスパートナースの育成を目指してまいります。



1年目新人看護技術研修 多重課題

この研修は、入職6ヶ月目、多重課題に遭遇することが多くなる時期。看護実践者として、優先順位が判断でき、他者の協力を得ながら行うべき看護業務を遂行できることを目的としています。シナリオに沿って全員が看護師役・患者役を演じて学び合いました。うまく演技では出来ていなくても、その後のグループワークで、安全にケアを提供するために、また、自身の課題や困っていることも含め、優先順位は、なぜそのように判断したのか、何を依頼するか、どのように依頼するのか、どのように依頼するのか、どのよう意見交換し、看護実践する上でのヒントが得られる研修となりました。



1年目研修 (10月15~16日)

川畑看護部長の講義では、社会人基礎力・仕事の基本を身につける事の重要性、日頃の看護から看護の喜びや学ぶ事の大切さが伝えられ、改めて寄り添う看護の意味を振り返る機会となりました。

接遇研修では、医療者と患者家族等との起こりうる場面をロールプレイし意見交換する事で問題点に気づき楽しく学ぶことができました。



電話のベル5回…「大変お待たせしました…」だよね!

患者さんに待ってもらう場合…「〇〇さん、〇分お待ちいただいておりますでしょうか。」

「1年目の自分、そして今」と題したパネルディスカッションでは、一番身近な2年目看護師から悩みながらも患者に寄り添う看護、個別性のある看護を、先輩からの指導や同僚・同期からの励ましで乗り越えて今があることが語られ、先輩たちも悩みながら成長しているということに気づき学びが深まり、今後の実践への糧となりました。



フリー研修室: キャリア看護師 技術研修

11月から病棟・中央部門に配属されたキャリア看護師を対象に、11月12日、原理原則、技術の確認を目的に技術研修を実施しました。輸液ポンプ・シリンジポンプ、輸血、膀胱留置・導尿をリスクマネジメント・感染予防の視点からポイントを学びました。「原理原則を学べる機会を貰えて良かったです」とコメントを頂きました。

♡今後のご活躍を期待します♡



アンブマン・DVD貸出し お電話でどうぞ

各病棟では、患者の急変時の蘇生処置が、医療チームの一員として実施できるように他職種と救急シミュレーションを複数回行っており、アンブマンは、毎日病棟に行っております。貸出しのご相談はお電話でどうぞ。

●アンブマン3体・AED3台あります。

DVDは、新卒看護職員・キャリア看護師の皆さんにご活用いただけるように貸出ししております。貸出し期間2週間です。

●貸出しDVDの種類; 「静脈注射実施の法的解釈」「フィジカルアセスメント研修」「与薬技術とヒヤリハット対策」「ME機器の知識と技術・輸液ポンプ、シリンジポンプ」・「低圧持続吸引器」「経管栄養の技術」「エンゼルケアの基本と流れ」